

# 【Vade for M365】 無料メールセキュリティ診断の進め方



2023.09.28

株式会社エヌ・ティ・ティ ピーシー コミュニケーションズ

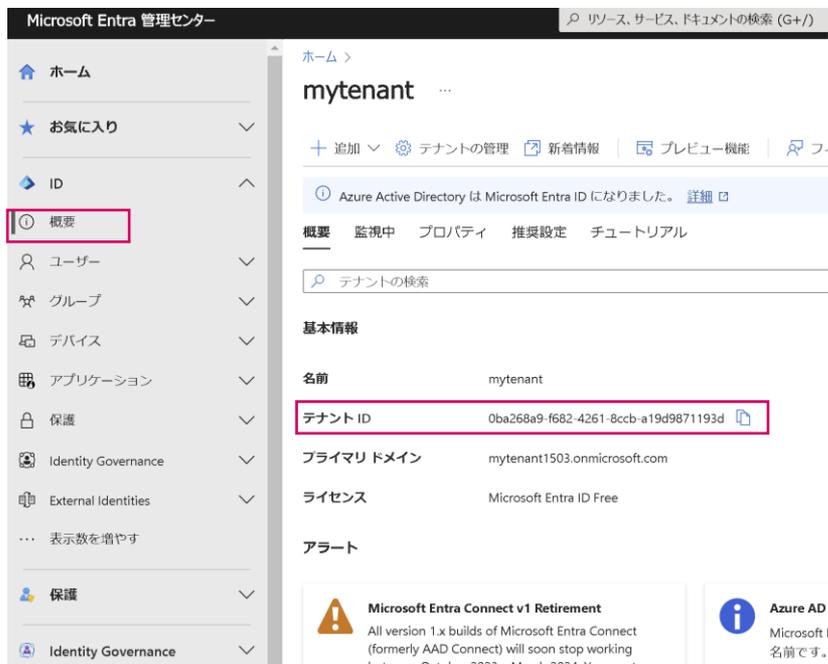
# お客様にご準備いただく必要があるもの

## 1. お客様情報

- 企業名（日本名、英名）
- 所在地
- ご担当者（管理者の方）
  - 氏名
  - メールアドレス
  - TEL

## 2. Microsoft テナントID

- Entra ID（旧Azure AD）の画面より確認可能です。
- a. Entraにサインインします。  
<https://entra.microsoft.com/>
- b. [概要] を選択します。



The screenshot shows the Microsoft Entra Management Center interface. On the left, a navigation pane lists various management areas, with '概要' (Overview) highlighted in a red box. The main content area displays details for a tenant named 'mytenant'. A table lists the following information:

名前	mytenant
テナントID	0ba268a9-f6d2-4261-8ccb-a19d9871193d
プライマリドメイン	mytenant1503.onmicrosoft.com
ライセンス	Microsoft Entra ID Free

The 'テナントID' (Tenant ID) is highlighted with a red box. Below the table, there are sections for 'アラート' (Alerts) and a notification about 'Microsoft Entra Connect v1 Retirement'.

# 実施いただきたい事項 | フィルタチューニング (学習)

- 実施いただくことで、お客様のメールボックスに応じたより高い検知が可能になります。
- チューニング方法
  - 管理者：対象メールログの脇に表示される「修復」マークを押下いただくだけです。
  - ユーザ：Outlookの画面より対象メールを「迷惑メール」とチェックいただくだけです。
- ご判断が難しい場合は、Vade TIRC (Thread Intelligence Research Center) にて判断いたしますので積極的に押下いただいて構いません。
  - 「修復」、「迷惑メール」のチェックによりVade TIRCにて申請メールの判断が実施され、お客様に応じたフィルタにチューニングされます。
  - 個別で判断結果を確認されたい場合は、別途該当メールのemlファイルをいただければ、個別でご案内することも可能です。
- 以下のような見逃しや過検知についてもチューニングにより問題なく改善いたします。
  - 脅威メールが正常なメールと判定され、すり抜けてしまっている
  - システムメール、お取引先からのメールが一部マルウェア、スパム等と判定されている

# ご契約後の推奨事項

- ご契約いただいた後、保護モードでのご利用が可能です。（設定＞全般＞全体設定）
  - 無料メールセキュリティ診断は監視モードのみのご利用となっております。
  - 保護モードへ切り替えていただくことにより、ステータスに応じた処理を実行することが可能となります。（迷惑メールフォルダへの移動、削除など）
  - 保護モードへの切り替えは1クリックで簡単に実施できます。
- Auto-Remediateをオンにしてください。（設定＞フィッシング対策＞Auto-Remediate）
  - Auto-Remediate（自動修復機能）は新たに発見された脅威についても既存のメールを再度チェックし、自動的にフィッシングメールを処理することができる機能です。
- Threat Coach Intelligence Communityに参加するをオンにしてください。
  - こちらをオンにすることにより、「修復」対応したメール以外の貴社が受信した脅威メールをVade Secureが詳細に分析し、フィルタのチューニングに生かします。それにより、さらなる検知率の向上が可能になります。

# 初期設定詳細手順

# 0. ライセンス発行（※NTT PCにて対応）

**Order a license**
×

---

Product

Vade for M365
▼

Microsoft Tenant ID

f773c008-17bb-4d25-a0fd-697d07d87d0c

Environment

Asia
▼

---

Trial

7 days

Plan

1 year

3 years

Users ⓘ

▼

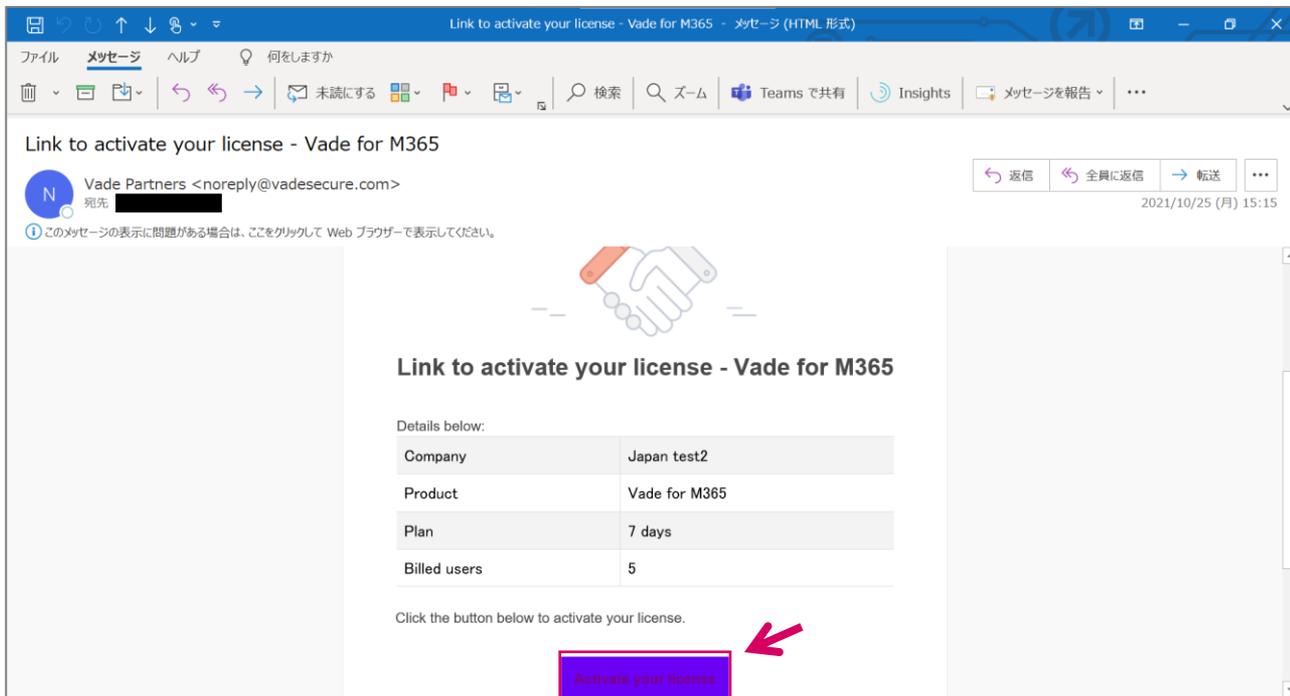
Allow user group restriction

Cancel

Order a license

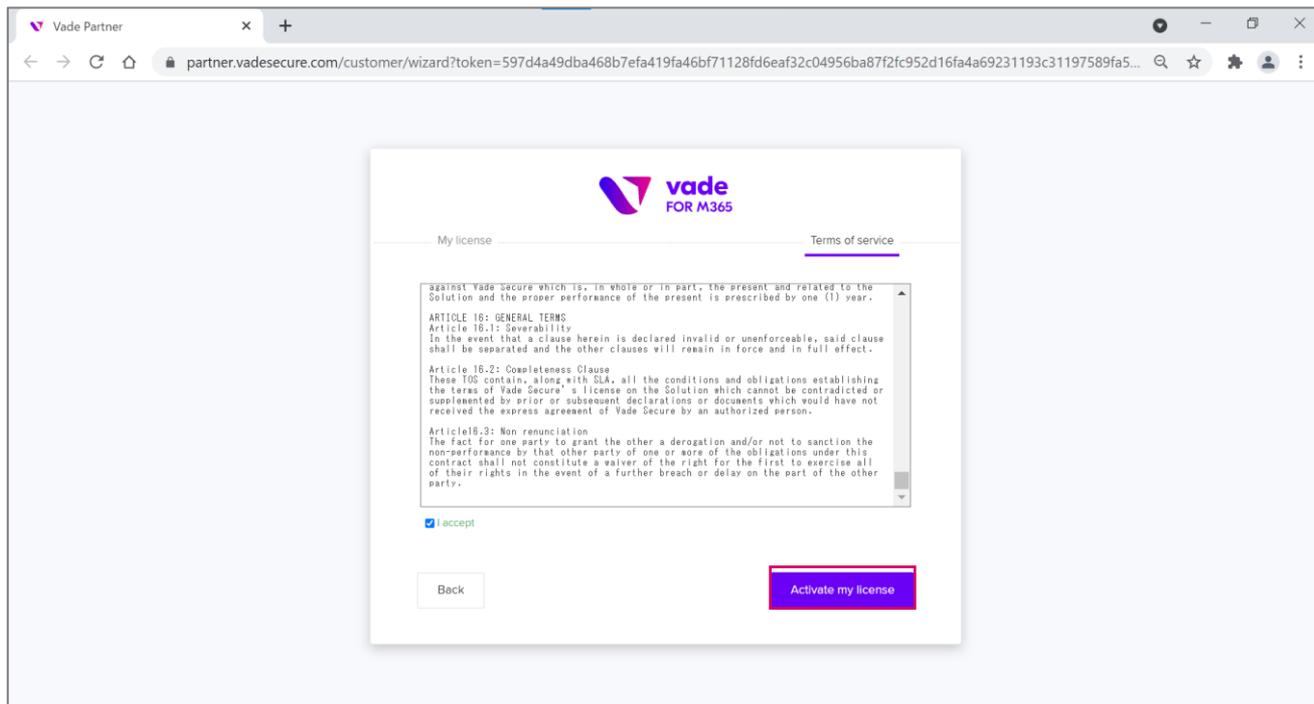
- 頂いたお客様情報、Microsoft テナントIDをもとに、NTT PCにて検証ライセンスを発行いたします。

# 1. ライセンス有効化依頼メール



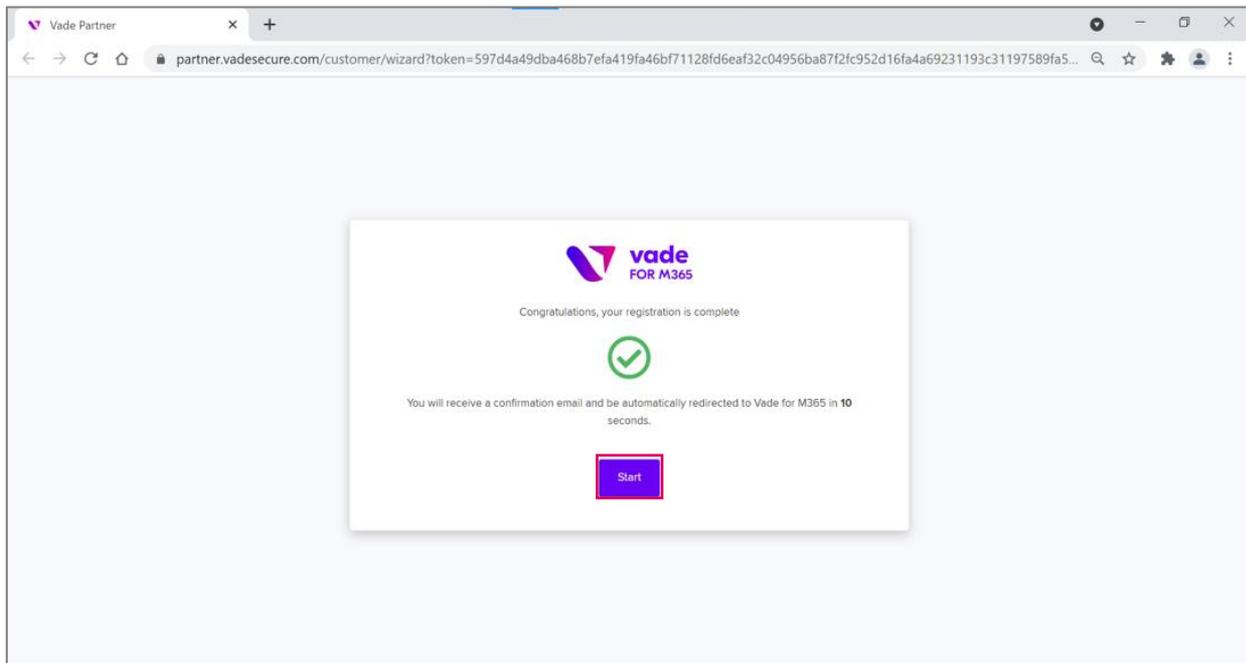
- お客様情報の担当者様宛てにライセンス有効化依頼メールをお送りいたします。“**Activate your license**”を押下ください。

## 2. サービス規約への同意



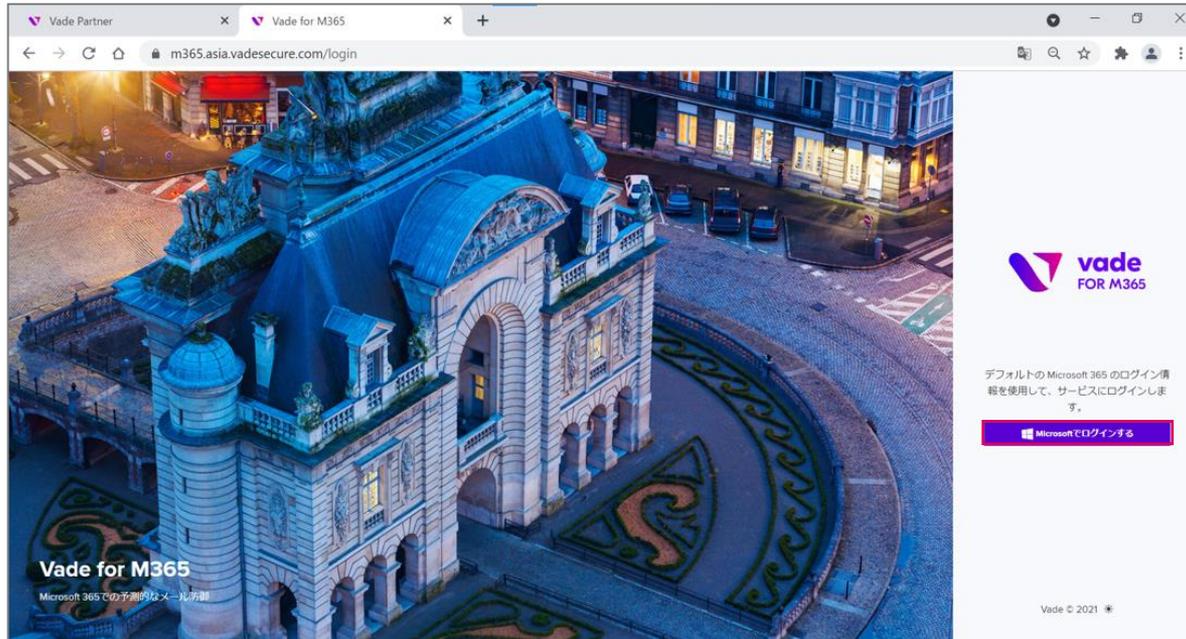
- サービス規約を一読いただき、“I accept”のチェック後に“Activate my license”を押下ください。日本語版の規約は別途ご案内いたします。

### 3. Vade for M365のライセンス登録完了



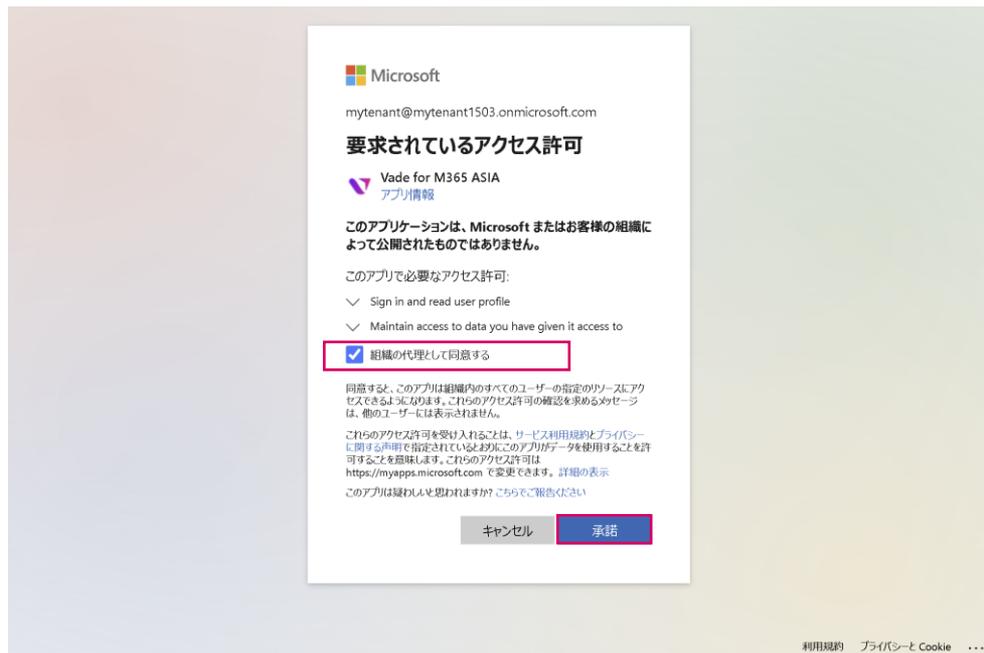
- Vade for M365のライセンス登録は完了です。管理画面を開いてみましょう。

## 4. Vade for M365へのログイン



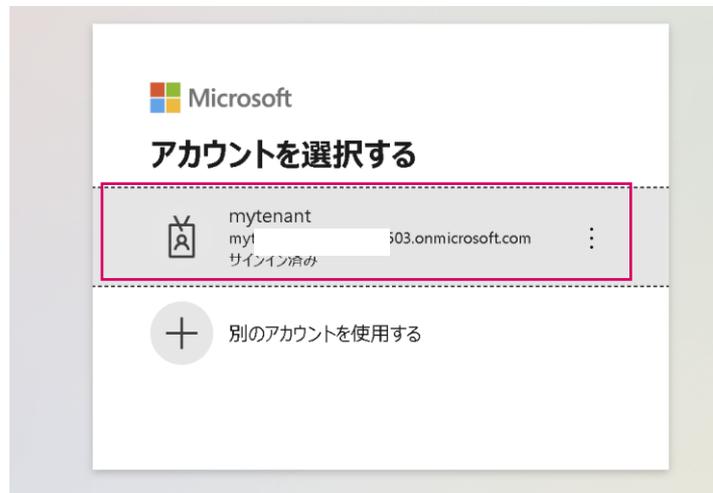
- Vade for M365へのログインはM365アカウントでのSSO（シングルサインオン）します

# 5. Vade for M365のアクセス許可



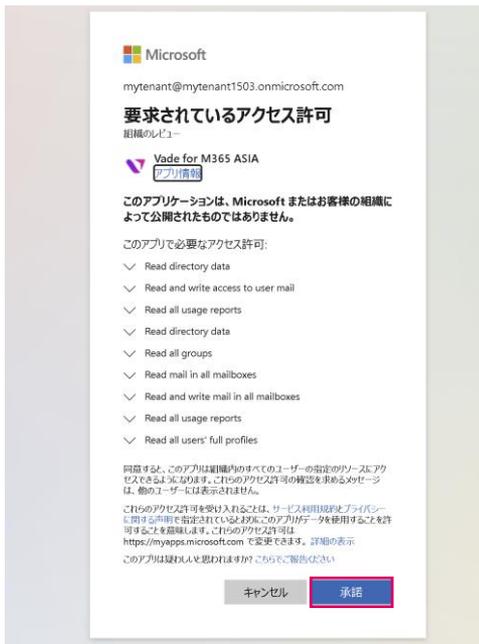
- Vade for M365がMicrosoftへアクセスするに当たってのアクセス許可をします
- 「組織の代理として同意する」にチェックを入れます。続けて「承諾」をクリックします

## 6. Vade for M365のアクセス許可



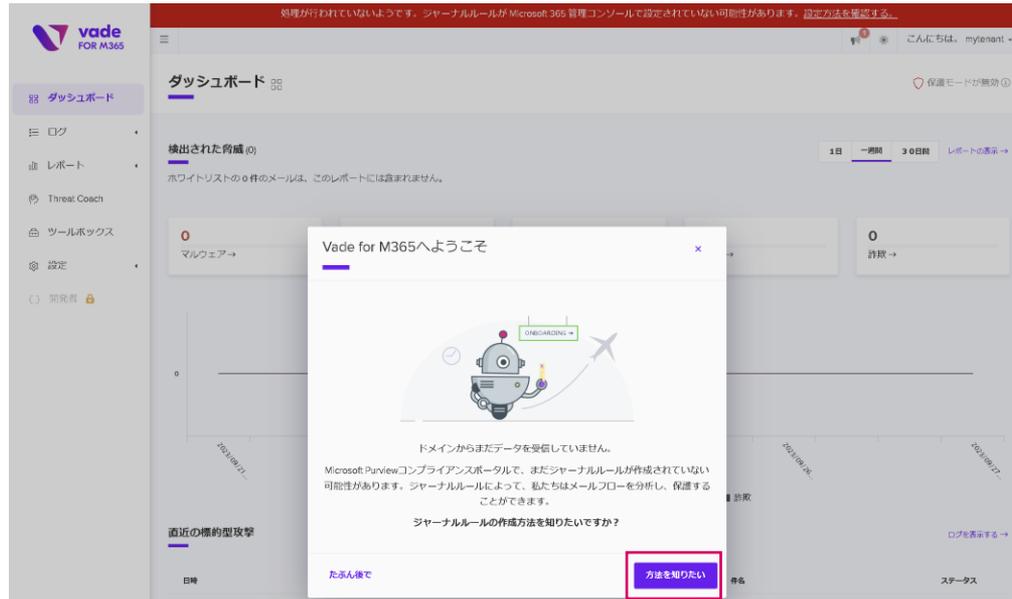
- 同様にアクセス許可に関する画面が表示されるので、「続ける」をクリックします
- 再度、M365のログイン画面が表示されるので、ログインします。

# 7. Vade for M365のアクセス許可



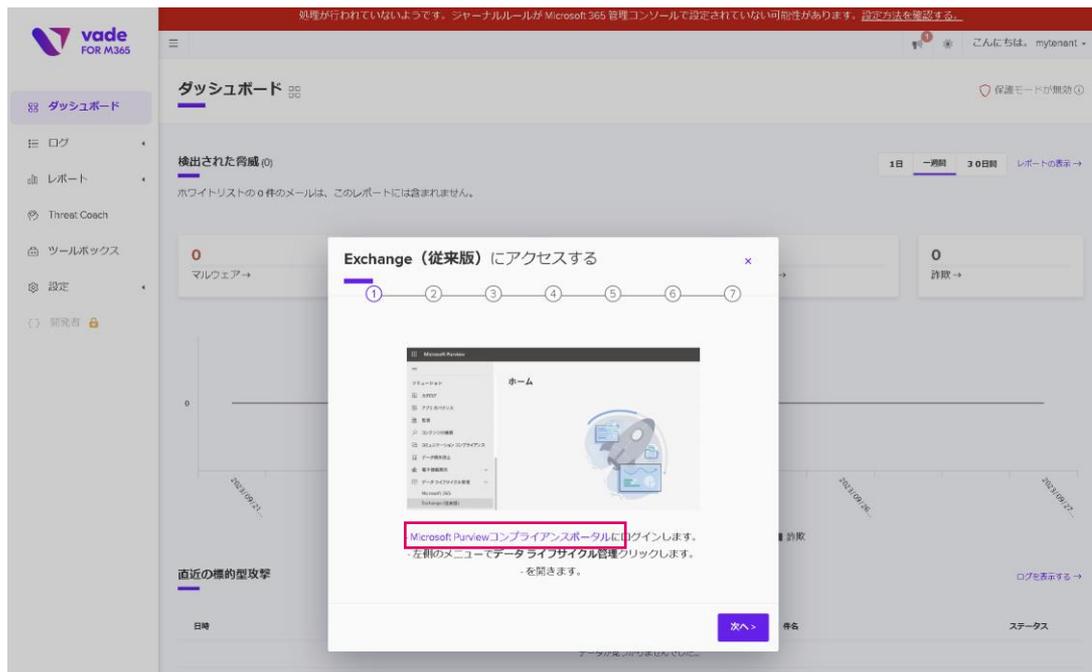
- 引き続きアクセス許可の画面が表示されるので、承諾をします。

## 8. アクセス許可の完了確認。ジャーナリング設定の開始



- 上記の画面が表示されれば、アクセス許可（API連携）は完了です。
- 続けて、ジャーナリング設定を行います。「Vade for M365へようこそ」のウィザードから「方法を知りたい」をクリックします。

# 9. Microsoft Purviewに移動



- 「Microsoft Purviewコンプライアンスポータル」にログインします。をクリックします (もしくは、<https://compliance.microsoft.com/homepage> を直接開きます)

# 10. PurView ジャーナリングの設定



- Purview画面から「データライフサイクル管理」 → 「Exchange (従来版)」を選択します

# 11. PurView ジャーナリングの設定



- 「ジャーナルルール」を選択します。続けて、配信不備なジャーナルレポートの送信先を設定します。設定をクリックします。  
 (ジャーナル設定を既に使用している環境などで、既に配信不備なジャーナルレポートの送信先が設定されている場合は、このステップはスキップしてください)

# 12. PurView ジャーナリングの設定



- 配信できないジャーナルレポートの送信先に「undeliverable@bounce.asia.vadesecure.com」を入力し、保存します（ジャーナル設定を既に使用している環境などで、既に配信不備なジャーナルレポートの送信先が設定されている場合は、このステップはスキップしてください）

# 13. PurView ジャーナリングの設定



ジャーナルルールを作成します。  
「+ 新しいルール」をクリックします

# 14. PurView ジャーナリングの設定

Microsoft Purview

Exchange (従来版) > ジャーナル ルールの編集

ジャーナル ルールの設定

完了

## ジャーナル ルールの設定を定義する

ルールの条件に一致するメッセージは、ルールで指定されたジャーナル アドレスに配信されます。Exchange Online でのジャーナリングの管理に関する詳細  
[ジャーナル レポートの送信先 \\*](#)

journal@m365.asia.vadesecure.com

ジャーナル ルール名 \*

[Apply to all messages]Vade Journal

ジャーナル メッセージの送信元または受信元 \*

全てのユーザー

特定のユーザーまたはグループ

ジャーナルするメッセージの種類 \*

全てのメッセージ

内部メッセージのみ

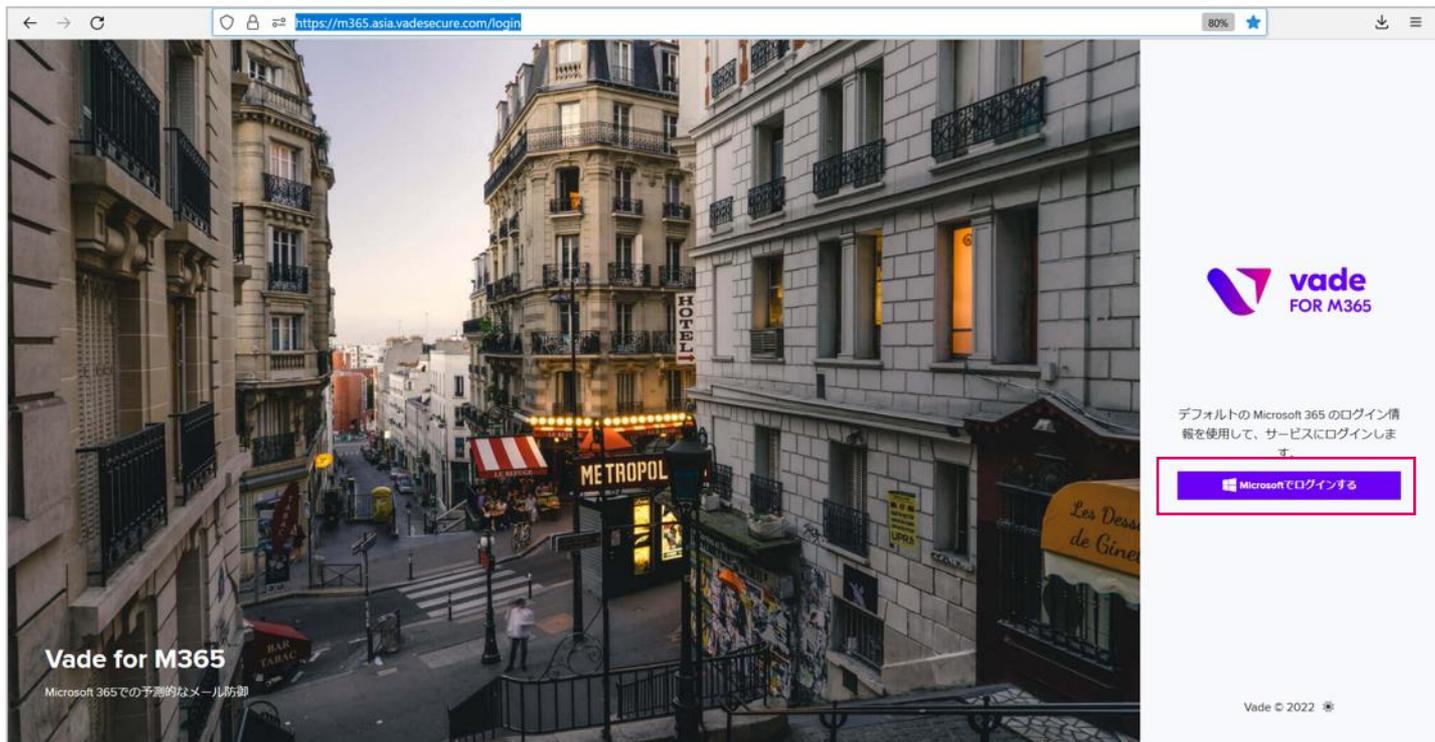
外部メッセージのみ

次へ

キャンセル

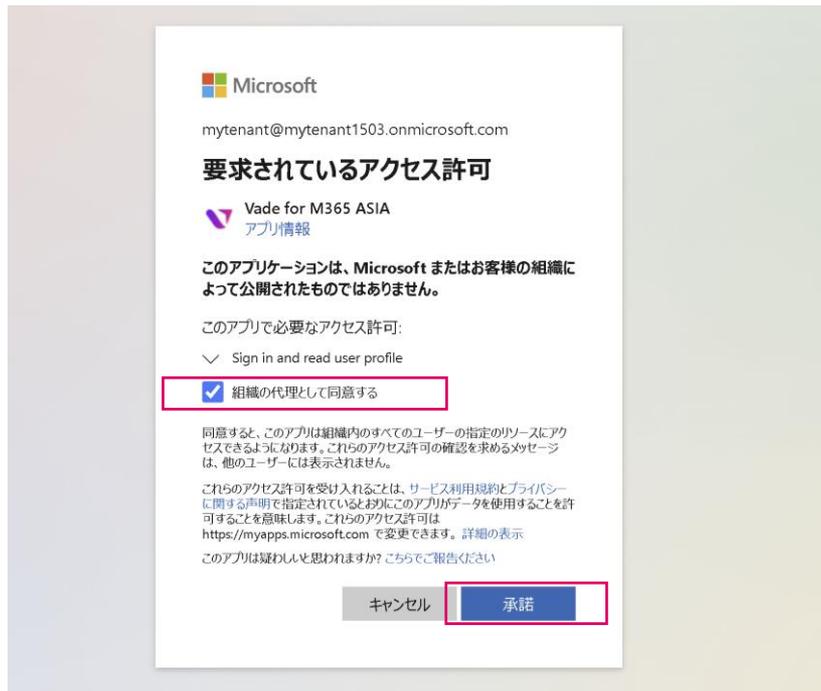
- 送信先に「journal@m365.asia.vadesecure.com」、「すべてのユーザー」、「すべてのメッセージ」を選択して完了します。
- ジャーナルルール名は、任意のもので構いません。（例えば、「Vade Journal」など）

# 15. Vade for M365へアクセスしてみましょう



- 「<https://m365.asia.vadesecure.com/login>」にアクセスし、ログインします。

# 16. Vade for M365へアクセスしてみましよう



- 上記が表示される場合は、「組織の代理として同意する」にチェックを入れて、承諾します。次回ログイン以降は、表示されなくなります。

# 17. Vade for M365へアクセスしてみましょう

The screenshot shows the Vade for M365 interface. On the left, the 'ログ' (Log) menu is expanded, and 'メール' (Email) is selected. The main content area is titled 'メールログ' (Email Log) and shows a search filter: 'to:"address@domain.com\*" AND subject:"Buy my rolex watch\*"'. Below the search bar, there is a hint: 'ヒント: ダブルクォーテーション ("") を使用して、設定された順序で単語を検索します。' (Hint: Use double quotation marks to search for words in the specified order). A table displays one email entry with the following details:

日時	差出人	発元	件名	ステータス	修復	処理	詳細
2023/09/28 14:21	Isao.Miyazaki@vadesec...	mytenant@mytenant150...	ああああだだだだだだ	正当		未処理	

- 左メニューの「ログ」→「メール」をクリックし、何かしらのログが表示されていれば、設定は正常に行われており、これですべての設定が完了です。